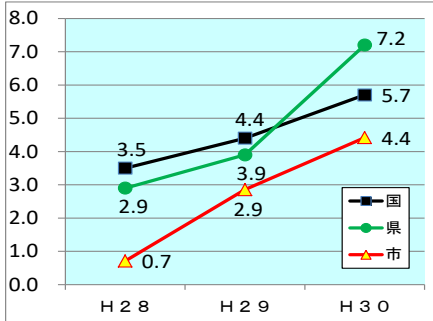


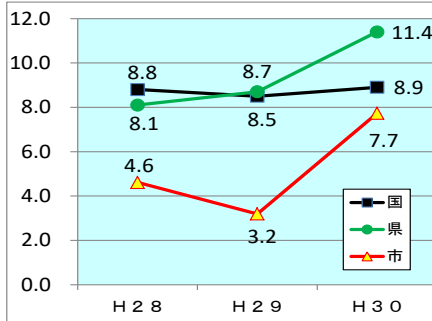
平成30年度「東広島市立の小中学校における生徒指導上の諸課題」の現状について

1 「暴力行為」の発生件数について

【小学校/1,000人あたりの発生件数】



【中学校/1,000人あたりの発生件数】



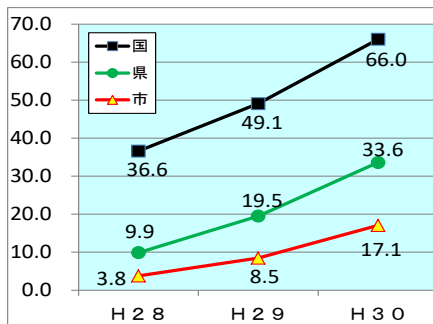
【本市暴力行為発生件数】

	H28	H29	H30
小学校	8件	32件	50件
中学校	22件	15件	36件

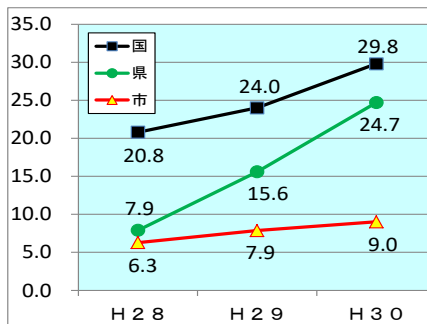
- 平成30年度本市の小中学校における児童生徒1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、国及び県の数値をいずれも下回っている。
- 本市の小中学校における1,000人あたりの発生件数は、国及び県と同様、前年度に比べて暴力行為（生徒間暴力）が増加している。

2 「いじめ」の認知件数について

【小学校/1,000人あたりの認知件数】



【中学校/1,000人あたりの認知件数】



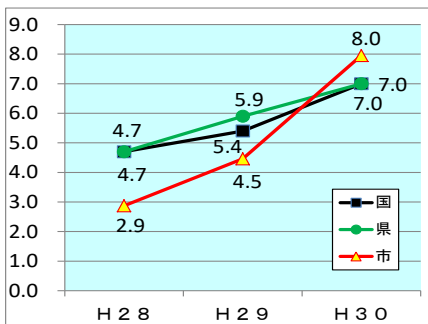
【本市いじめの認知件数】

	H28	H29	H30
小学校	42件	95件	193件
中学校	30件	37件	42件

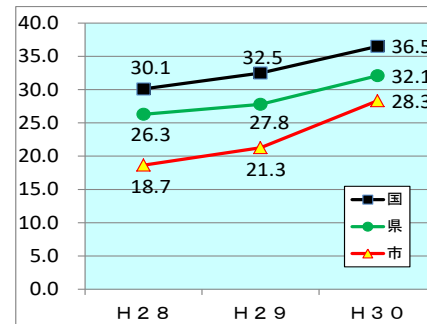
- 平成30年度本市の小中学校における児童生徒1,000人あたりのいじめの認知件数は、国及び県の数値をいずれも下回っている。
- 本市の小中学校における児童生徒1,000人あたりのいじめの認知件数は、過去最多となっているが、全国の1,000人あたりのいじめの認知件数の3割以下である。

3 「不登校」の児童生徒数について

【小学校/1,000人あたりの不登校児童数】



【中学校/1,000人あたりの不登校生徒数】



【本市不登校児童生徒数】

	H28	H29	H30
小学校	32人	50人	90人
中学校	89人	100人	132人

- 平成30年度東広島市立の小中学校における児童生徒1,000人あたりの不登校児童生徒数は、国及び県と同様に増加している。
- 本市の小学校における児童1,000人あたりの不登校児童数は、国及び県の数値を上回っており、過去最多となっている。